

日本教育工学会 2011 年度 夏の合宿研究会のご案内

■テーマ：若手教師の力量形成を支援する授業研究のデザイン

近年、大都市圏を中心にベテラン教師の大量退職時代を迎えています。それに伴い、若手教師の採用が急増しており、今後も採用が見込まれている若手教師の力量形成を支援する必要性がますます高まっています。こうした状況をふまえ、本研究会では、これまでわが国において取り組みが蓄積されてきた授業研究の営みを、若手教師の力量形成という視点から、改めてその意義や課題を明らかにしたいと思えます。当日は、授業研究や教師教育に関心を抱く研究者はもちろん、若手教師の力量形成を支援する立場にあるミドル・リーダー、指導主事等の教育委員会スタッフ、そして若手教師の方々にもご参加頂き、それぞれの立場から、授業研究への関わりについて意見交換していきたいと思えます。最終的には、若手教師の力量形成を支援し、さらなる充実を実現する具体的な方策や授業研究のデザインを追究することで、教育工学の役割についても明確にしたいと考えています。

■期日：2011年8月6日（土）13:30 開始～8月7日（日）12:00 終了

■会場：高知大学朝倉キャンパス・教育学部附属教育実践総合センター

（高知市曙町2丁目5-1 <http://www.kochi-u.ac.jp/JA/m/acc.html>）

■対象：学校教育に関わる実践者（小・中・高等学校、特別支援学校の現職教員等）、研究者、その他

■参加費：1,000円（予定）当日の資料代を含みます（なお、情報交換会の参加費は別途徴収させていただきます）。

■参加申し込み：<http://reas2.code.ouj.ac.jp/cgi-bin/WebObjects/REAS?t=17243> より、お早めにお申し込みください。

■プログラムの概要

木原俊行氏（大阪教育大学）から、若手教師等の成長を促す授業研究の方法論やその事例に関する基調講演を頂きます。それに引き続いて、本研究会のテーマに関連する授業研究の取り組みを行なっているいくつかの学校等から実践報告を頂きます。これらをもとにして、若手教師の力量形成を促す授業研究の企画・運営について、ワークショップ等を通じて、参加者間で議論を深めたいと思えます。2日目には、ワークショップ等で交わされた議論を全体で共有し、今後求められる授業研究のデザインについて総括します。なお、1日目のワークショップ終了後には、情報交換会を予定しております。

■プログラム

【1日目】8月6日（土）13:30～17:30（受付13:00～）

13:30～13:40 開会のあいさつ

13:40～14:40 基調講演「教師の授業力量を高めるための授業研究のデザイン」 木原俊行（大阪教育大学）

14:50～16:20 実践報告「若手教師の力量形成を支援する授業研究の取り組み」と協議

宗円晃司・中野博文（いの町立伊野南小学校）「若手教師—配置校指導教諭の立場から」

松浦智史（守口市立橋波小学校）「研究主任の立場から」

三枝由佳里（大阪市立海老江東小学校）「管理職・教育委員会等の立場から」

16:30～17:30 ワークショップ「授業研究をいかに企画・運営するか？—よくある課題とその解決策を探る」

授業研究の企画・運営に関するよくある課題を取り上げ、その解決策をグループで討議します。

さらに、若手教師の力量形成の支援を実現し得る授業研究のあり方を探っていきます。

18:30～20:30 情報交換会

【2日目】8月7日（日）9:30～12:00（受付9:15～）

9:30～9:40 1日目の振り返り等

9:40～11:30 ワークショップのまとめ・成果発表と協議

各グループから導き出された授業研究のさらなる充実を実現する方策について報告し合い、参加者間で共有しながら、議論を深めていきます。

11:40～12:00 全体総括

■開催担当・問い合わせ先：島田希（高知大学教育学部附属教育実践総合センター）mail: nshimada@kochi-u.ac.jp

■主催：日本教育工学会 企画委員会

■共催：高知大学教育学部附属教育実践総合センター

■後援：高知県教育委員会、高知市教育委員会